



はとぐみだより「ふゆ」

チャリティー第一保育園
令和8年3月発行



4期(12月～3月)の目標

- 大人数での遊びを楽しめるようになり、友達とのかかわりが活発になる。
- 冬の遊びを十分に楽しむと共に、冬の生活の仕方を知る。

大好きな粘土遊び。はと組の年齢になると自分で形を作ろうとします。お友だちが作っている物を「自分も作りたい」と思うようになり、やってみようとするけれど上手く出来ない葛藤も体験します。出来ない時には保育者に助けを求め一緒に取り組むことで成功体験となり次への意欲につながります。



丸い形を作った後は数を数えていました。



丸い形をどうやって作るの？と聞かれて作り方を教えてくださいました。



手でこうやるんだよ



出来た！

のあくんと同じ剣を作ってちょうだい

手洗いしたらうがいだよ



たくさん並べて遊ぼうよ！



バスごっこ楽しいねー



運動不足になりがちな冬期は、リトミックを取り入れるなど、思い切り走る機会を設けています。



わくわく活動の様子

ワクワク活動のテーマ「雨と水・葉と花・鳥・虫・雪」の中から今回は「雪(水)」の保育風景をご紹介します。

天気や気温に合わせて遊ぶ場所を選びます。夏は水遊びをしたテラスが、冬は雪を持ち込み「雪遊び」の場になります。天気が悪くても、テラスを利用することで雪遊びを楽しむことができます。

氷、見つけたよ



雪がかたい…転ばないようにしないと。



(雪を上へ投げたら)雪が降ってきたあー！



いいよ。作ってあげる

明日は雪遊びのジャンパーを着ようね。



テラスでの雪遊びも回数を重ね、遊び慣れてきた雰囲気「変化」を感じてもらいたく、水を入れた牛乳パックを準備し「今日は水があるよ」と伝えてみました。保育者が「雪(バケツ)に水を入れるとどうなるんだろう??」と子どもの注意が向くようにつぶやくと…「水!?!」と興味をもって集まってきた子ども達。自分のバケツを差し出し「水ちょうだい!!」と言い、シャベルで混ぜては「もっと」と催促して雪水あそびを存分に楽しみました。



もっとお水を入れてちょうだい



あれ？サクサク音がする



(水が多いと)ピチャピチャ音がする



「一緒にやろう?」「いいよ」と会話をしながらひばり組のお友だちとも遊びます。



はと組の1年間で身の回りの自立がおおよそ出来るようになります。園生活を通して身辺自立が完成するように、食事の準備から一人で食べるまで、着替えや排泄など日常の積み重ねを大切にしています。社会性や対人関係などはこれからの生活も積み重ねて確立していきますので園と家庭とで丁寧に関わっていけたらと思っています。一年を共に過ごし、すくすくと成長していく姿を身近に感じることが出来、感謝しております。行事に関しましてはその都度ご協力をいただきましてありがとうございました。春からも子ども達の成長を保護者の皆様とともに見守っていきたくと思っています。一年間、ありがとうございました。

ゆうか先生

一年を通し、「できない」から「できた」がたくさん増え、以上児さんに憧れを持ち、沢山のことを一緒に挑戦してきましたね。これからの成長をとて楽しみにしています。

まき先生

個性豊かなクラスでとても賑やかな毎日でした。色々なことにチャレンジする姿が素敵だなと思いました。進級しても周りのことに興味関心を持って楽しい日々を過ごしてくださいね。

給食前の隙間時間は、はと組だけで活動する時間。この日は「かくれんぼしよう」となり、交代で隠れて遊びました。



年末に保育室を拭き掃除をしてきれいにしました。

